

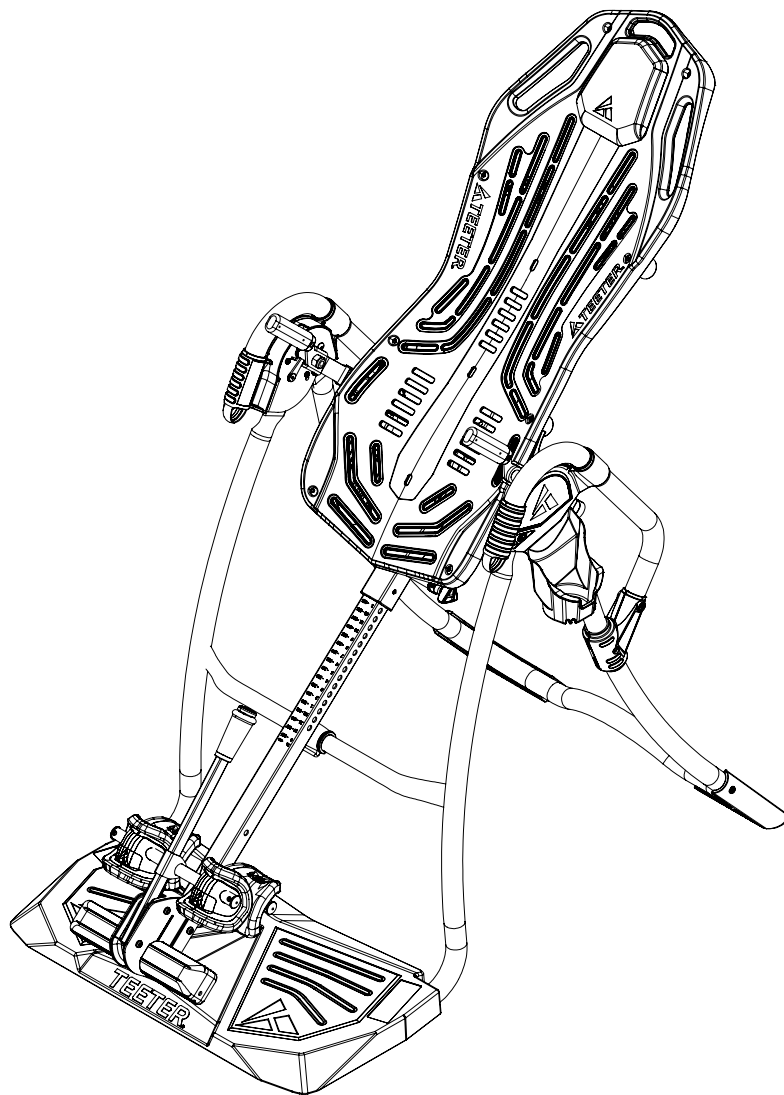


FitSpine LX™ Series

組み立て方説明書

モデル FitSpine LX9

重力アシストストレッチング・デコンプレッション



本商品の説明書をダウンロード、印刷するには
inversion.jpのマニュアルページへアクセスしてください

この図の仕様は実際と異なる場合があり、
また予告なく変更されることがあります。

For English instructions, visit the
Product Manual page at teeter.com

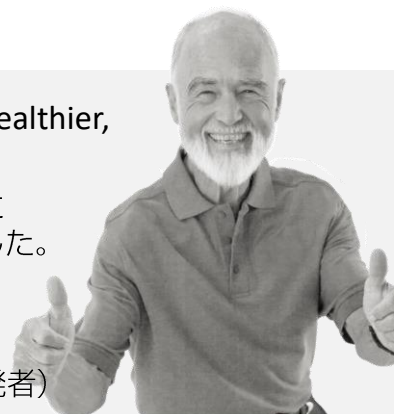


“I created Teeter so people could live healthier,
more active lives.”

人々がもっと健康に、もっとアクティブに
暮らせるようにと、ティーターを創りました。

-Roger Teeter

ロジャー・ティーター（創設者・開発者）



ティーターのFitSpineLXシリーズをお買い求めいただきありがとうございます。本商品を正しく最適な状態で使用する為に、ご使用前には必ず「組み立て方説明書」通りに組み立てを行い、添付の「オーナーズマニュアル」の内容をご理解頂き、同封のDVDをご覧ください。

ティーターのぶら下がり器具はFDA（米国食品医薬品局）の510(k)承認されている複数のユーザーが使用できる家庭用の繰り返し使用可能な健康器具であり、脊椎周囲の筋肉と腱等を伸ばしながら脊椎に牽引力を与えることを目的としています。本器具はは無動力の牽引が行え、成人の使用を目的としています。



スマートフォンに無料アプリケーション「BILT」をダウンロード/インストールすると、手順ごとにインタラクティブな3Dのイメージと解説を見ることができます（※説明音声は英語のみ）。インストールの詳細な説明は5ページをご覧ください。



組み立てについての不明な点や不足部品があった場合には、販売店に連絡するか販売元の株式会社タステックまでご連絡下さい

TeeterHangup日本販売代理店 株式会社タステック

TEL (093) 541-6885

問い合わせフォーム <http://inversion.jp> メール info@inversion.jp

組み立て方説明書

安全に関する重要な説明	1
各部品	2
器具について	3
安全警告ラベル・器具の仕様	4
組み立てを始める前に	5
組み立て各手順	6-11
正しく組み立てられていますか？	12
逆さぶら下がりをする前に	13
保証条件・ユーザー登録	14

オーナーズマニュアル

安全に関する重要な説明	1
ユーザーセッティング	2
逆さぶら下がりの準備	3-4
逆さぶら下がり	4-5
収納・メンテナンス	5
もっと活用するには	6

作業を始める前に：組み立てを始める前に、まずすべての手順を先に確認して下さい。また器具を使用する前にはすべての注意事項をお読みください。組み立て説明書と取扱説明書を慎重に守って、安全性と製品の完全性を確保してください。

安全性に係わる重要指示事項

本器具を使用する前に全ての指示事項をお読みください



警告

下記の指示・警告に従わなかった場合は死亡や重度の傷害が発生する可能性があります

ケガ発生防止のために

● すべての指示事項を読み理解し、同梱されている他の資料を確認すること。また器具を使用する前には点検すること。この器具の適切な使用方法を熟知する事、これらの指示に従わない場合の逆さぶら下がり固有の危険性（頭や首から落ちる、挟まれる、巻き込み、器具の故障、または既存の病状を悪化させる等）を理解することは、お客様の責任です。本器具の所有者はこれを使用するすべての人へ正しい使い方と注意事項を伝える責任を負います。

● 医師の許可を得るまでは使用しないでください。逆さぶら下がり、血圧の上昇、頭蓋内圧の上昇、逆位の機械的ストレスによってより重症化したり、機器の操作能力に影響を及ぼす可能性のある医療や健康状態では禁忌とされています。

これにはケガや病気だけでなく、あらゆる薬やサプリメント（処方されたものや市販のもの）の副作用も含まれます。具体的な条件としては以下のものが挙げられますが、これらに限定されるものではありません。

・原因不明のしびれ、脱力感または神経障害、痙攣、睡眠障害、ふらつき、めまい、見当識障害、疲労感、または体力、運動性、注意力、または認知能力に影響を与える、神経学的、その他の状態。

- ・外傷、頭蓋内出血の既往歴、一過性脳虚血や脳卒中のリスクの既往歴、重度の頭痛等の脳の状態。
- ・高血圧、脳卒中の発生リスクの増加、または抗凝固剤の使用（高用量のアスピリンを含む）などの心臓または循環器系の状態。
- ・著しい脊椎湾曲、関節の急性腫脹、骨粗鬆症、骨折、脱臼、髄内ピン、または外科的に移植された整形外科的支持体などの骨、骨格または脊髄の状態または損傷。
- ・目、耳、鼻、の外傷、網膜剥離、緑内障、視神経高血圧症、慢性副鼻腔炎、中耳または内耳疾患、乗り物酔い、またはめまいなどの平衡感覚異常の状態。
- ・重度の逆流性食道炎、裂孔またはその他のヘルニア、胆嚢または腎臓病などの消化器系または内科系の疾患。
- ・妊娠、肥満など、医師によって運動が特別に指示、制限、または禁止されている状態。

● 足首止め具が適切に調整され、正しく機能しているか、足首が確実に固定されているかを器具を使用する際は常に確認して下さい。「聞く」「触る」「見る」ことで足首止め具がしっかりと安全にセットされているかを器具を使用する前に毎回テストして下さい。

● 器具を使用する際はテニスシューズのような靴底が平らな紐靴を着用して下さい。

● 厚底の靴、ブーツ、ハイトップ、または足首よりも長い丈の靴など、足首のロックシステムの機能を妨げる可能性のある履物を着用しないでください。

● 本器具は使用する人の身長・体重に合わせて適切に調整されていない状態では使用しないで下さい。不適切な調整で器具を使用すると急速に回転したり、起き上がりが困難になる場合があります。初心者や精神的、身体的に不安がある場合は監督役のアシスタントを受けましょう。毎回の使用前には器具が使用者固有の調整が正しくされているかを確認して下さい。

● 起き上がる時は上半身を起こしたり、頭を起こしたりしないで下さい。起き上がる時は膝を曲げ、身体を足先の方へスライドさせ重心の位置をずらします。完全な逆さま状態でロックがかかっている場合は「完全なぶら下がり状態から戻る方法」に従ってロック状態を解除してから起き上がって下さい。

● 器具の使用中に痛みやふらふら感、めまいなどを感じた場合は直ちに使用を中止して下さい。速やかに元の姿勢に起き上がり、状況回復後に器具から降りて下さい。

● 身長が198cm以上の方、もしくは体重が136kg以上の方は使用しないで下さい。構造的な故障が発生したり、頭部/首がぶら下がり中に床面に衝突する可能性があります。

● 子供に本器具を使用させないで下さい。子供、ペット、付添人は器具使用中は器具から遠ざけるようにして下さい。本器具は身体的、感覚的、精神的能力に問題がある状況で使用しないでください。その人の安全に責任を持つ人が器具の使用に関して監督と指示を与えない限りは使用しないで下さい。

● 子供がいる場所では本器具を使用可能な状態で放置しないで、折りたたんで床に寝かせて保管して下さい。屋外で保管しないで下さい。

● 本器具の使用中に激しい動きはしないで下さい。またウェイト、ゴムバンド、その他のエクササイズやストレッチ器具、メーカーが承認したアタッチメント以外は使用しないでください。本器具はこのマニュアルに記載されている意図された用途にのみ使用して下さい。

● 開口部に物を落としたり入れたりしないで下さい。髪の毛、服、アクセサリー、身体の一部などは可動部に近づけないよう注意して下さい。

● 商用、レンタル、施設では使用しないでください。本製品は屋内、家庭用商品です。

● 眠気や見当識障害を引き起こす可能性のある薬物や、アルコール、薬の影響が出ている状況においては器具を使用しないで下さい。

● 使用前には毎回器具を点検し、ねじ類がしっかりと締まっているかを確認して下さい。

● 故障や不具合のある部品はすぐに交換し、交換・修理が完了するまでは器具を使用しないで下さい。

● 本器具は平坦な床の上で、浸漬や落下の事故につながる可能性のある水や棚からは離れた所に設置して下さい。

● 本体に貼付された追加の注意書きも参照して下さい。ラベルやマニュアルが紛失、破損、読めない等の状態になった際は販売店へ連絡して下さい。

この説明書は保管しておいて下さい

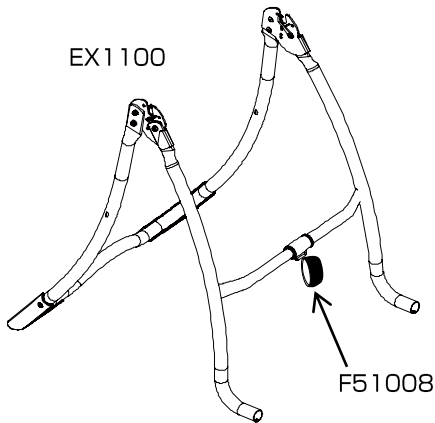
組み立て部品一覧

モデルによりパーツが異なる場合があります。各イラストの縮尺は反映されていません。

部品番号	名称	部品番号	名称
Aフレーム ベース		Fit Spine ベッド	
EX1100	Aフレーム	EX1300	FitSpine (フィットスパイン) ベッド
F51008	イージー アングル ストラップ (あらかじめAフレームに取り付けられています)	メインシャフト	
プラットフォーム		EX1620	DXイージーリーチ 足首止め具
F51064	プラットフォーム	ハンドル部	
HK1016	プラットフォーム取り付け用部品セット	EX1500	ストレッチMAX LXハンドル (×2個)
ローラーヒンジ		EX1201	ハンドルブラケット (左用)
TR1003	3穴ローラーヒンジ (トラクションハンドル付き) ×2個	EX1202	ハンドルブラケット (右用)
サポート用品		HK1015	ハンドル部用 取り付け部品セット
LX1020	説明用DVD	付属組み立て工具	
LX1030	オーナーズマニュアル	IA1149	5mm アレンレンチ (×2個)
		アクセサリ	
		EX1800	ヘッドピロー (まくら)

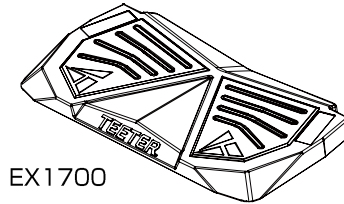
Aフレーム

アングルストラップはあらかじめ取り付けられています

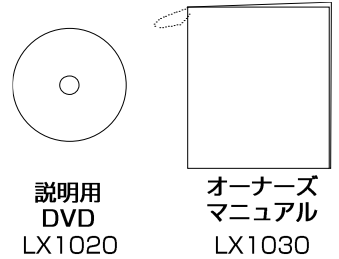


プラットフォーム

取り付け用部品セット(HK1016)を使用します

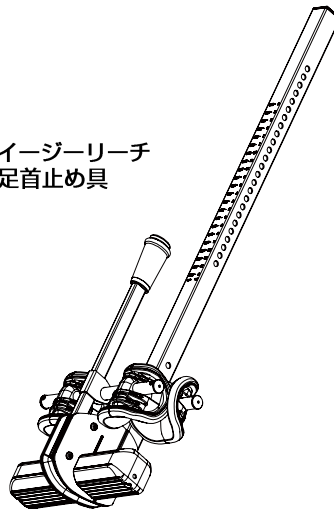


サポート用品

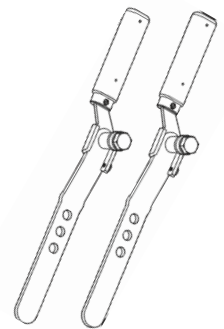


メインシャフト

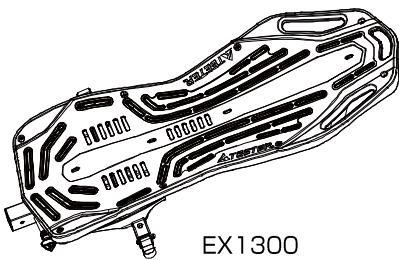
DX イージーリーチ
足首止め具



ローラーヒンジ



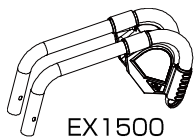
FitSpine ベッド



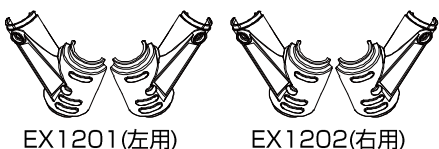
ハンドル

取り付けに部品セット (HK1015)を使用します

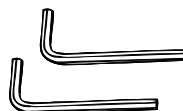
ストレッチMAX LXハンドル



ハンドルブラケットセット



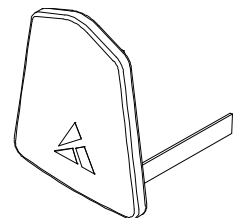
付属の工具部品



5mmアレンレンチ×2個

IA1149

アクセサリ

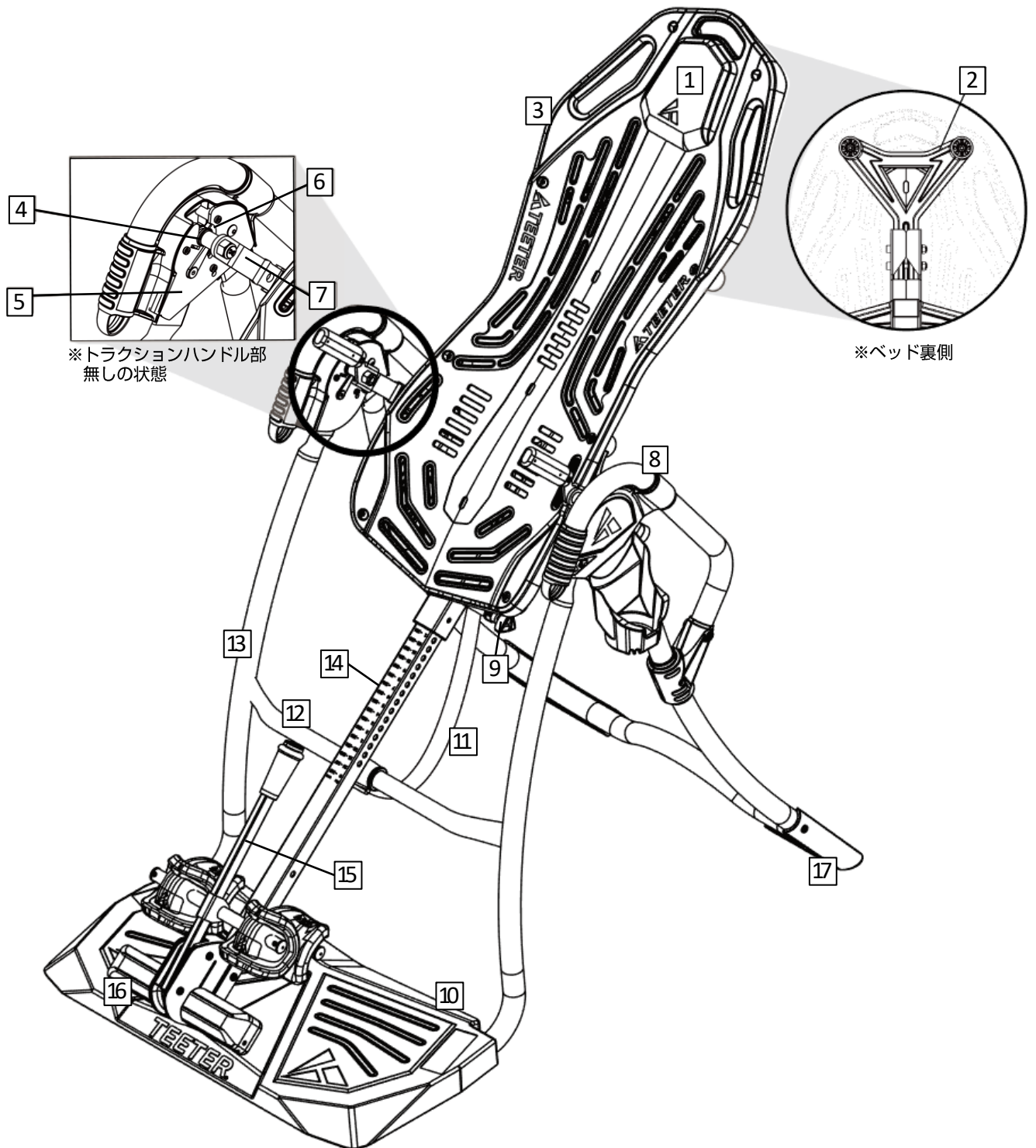


ヘッドピロー (まくら)

EX1800

逆さぶら下がり健康器 各部位の名称

組み立てに進む前に、下図を参照して各部位の名称をご確認ください。
(モデルによって部品の形状が異なる場合がありますが基本的に構成は同様です)



※トラクションハンドル部
無しの状態

※ベッド裏側

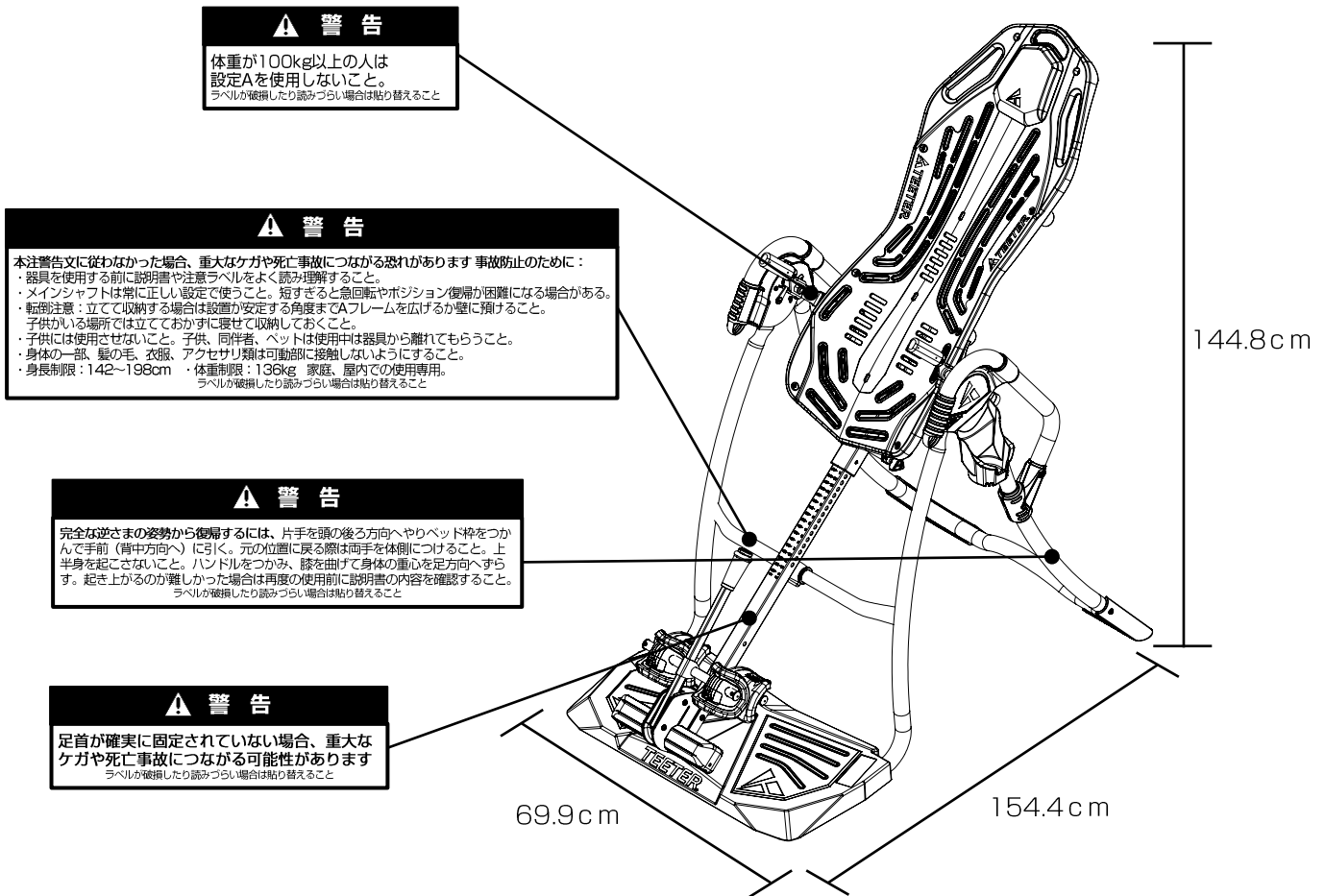
1	ヘッドピロー (まくら)	7	3穴ローラーヒンジ	13	Aフレーム
2	上サポートアーム	8	ハンドル	14	メインシャフト
3	FitSpineベッド	9	ロックピン	15	足首止め具
4	ピボットピン	10	プラットフォーム	16	アングルコンフォートダイヤル
5	ヒンジプレート	11	アングルストラップ	17	滑り止め付き脚
6	セルフ・ロック・フック	12	クロスバー		

注意ラベル及び器具仕様

【重要】器具を使用する前に必ず全てのラベルと説明書類の内容を確認してください

下図は本器具に貼付されている注意ラベルの場所を示しています。ラベルが汚れたり、はげたり、読みづらくなってきたりなどした場合には、販売店へ連絡し替えのラベルをもらってください。

※下図のラベルは実際の大きさとは異なります。



未使用状態寸法（組み立て済み）：長さ154.4cm×幅69.9cm×高さ144.8cm
使用中寸法（最大設定時）：長さ207.0cm×幅69.6cm×高さ221.0cm
収納時寸法：長さ69.9cm×幅69.9cm×高さ172.7cm

重さ（概算）：32.1kg

組み立てを始める前に

梱包を解き、作業エリアを準備する

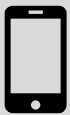
- ・組み立て後に移動しなくてもいいように可能であれば器具を使用する予定の場所かその近くで組み立ててください。
- ・全ての部品、説明書類を箱から取り出し梱包材はよけておき、作業エリアを確保して下さい。
- ・組み立て工具キットは説明書と同じ場所に置いておいてください。ラベルにはどの手順で使うかが示されています。
- ・説明用DVD（英語音声）は器具の組み立てを手順ごとに説明しています。テレビ、またはPCなどで再生し作業内容を確認いただけます。DVDには下記のセクションが収録されています。

- 組み立て … 各手順ごとの説明
- 設定 … 逆さぶら下がり健康器を使う人に合わせて個人での設定をします。
- 使い方 … バランスのテスト、回転のコントロール方法、元の姿勢への復帰方法を学びます。
- 降り方 … 器具からの降り方をモデル毎に説明しています。
- 収納・メンテナンス … 使用しないときはコンパクトに収納できます。
- アクセサリ … ティーターの逆さぶら下がり健康器に使用できるアクセサリの説明です。



- 「ヘルシーバック&ボディールーチン」
柔軟性UPや、より健康な背中のためのストレッチとエクササイズを紹介します。

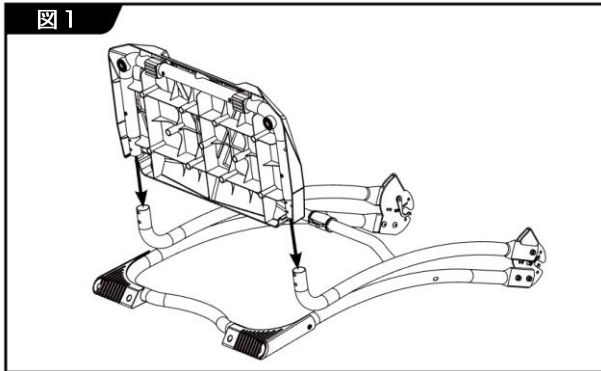
組み立てをもっとかんたんに **BILT。**で



BILT（スマートフォン 無料アプリ（説明音声は英語のみ））をインストールすれば手順ごとの説明や、インタラクティブな3Dイメージで確認しながら組み立てを行えます。QRコードを読み取りアプリをインストール後に「LX9」と検索すれば組み立て手順を見ることができます。



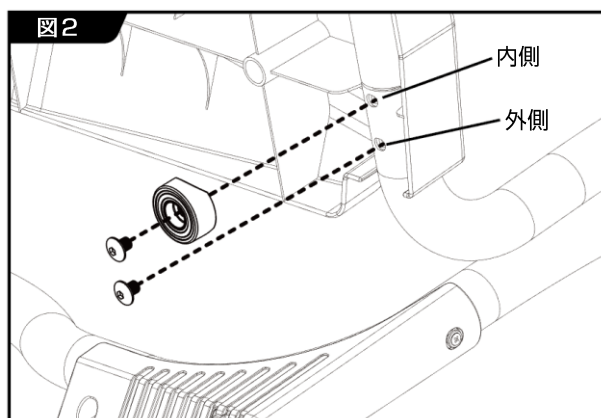
ステップ<1> プラットフォームを取り付ける



重要：すべてのボルトがボルト穴にしっかり収まるのを確認するまではボルトを完全に締めてしまわないこと。

● Aフレームを箱から取り出し、後ろ側を下にして（取り付け口が上にくるように）床に置きます [図1]

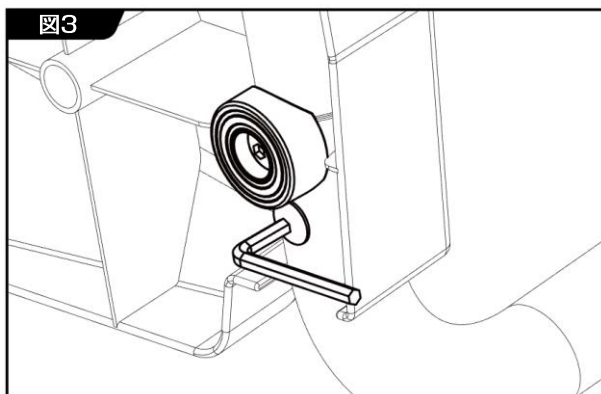
● プラットフォーム、プラットフォーム取り付け用部品セット（ゴムキャップ×2、取り付けボルト×4）を準備します。



● プラットフォームをAフレームにさし込みます [図1]

注意：プラットフォームには左右両方ともに二つのボルト穴（内側と外側）でAフレームに固定されます。内側にはゴムキャップが取り付けられます。 [図2]

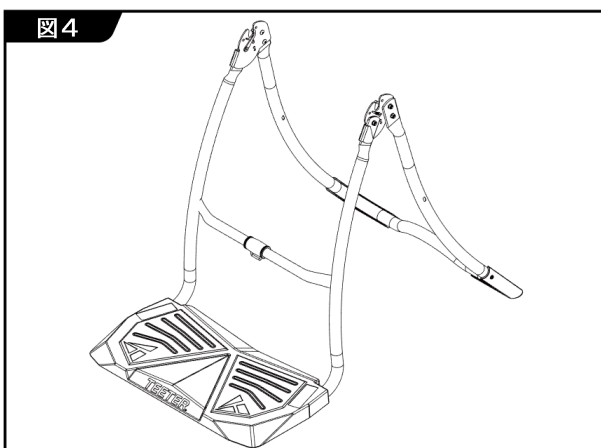
● プラットフォームの底面に向かい、内側の穴にゴムキャップをあて、プラットフォーム用ボルトを取り付け軽く手で締めます。 [図2] 反対側も同様に取り付けます。



● 外側のボルト穴にもボルトを取り付け手で軽く締めます。 [図2] 反対側も同様に取り付けます。

● すべてのボルトが取り付けられた後、5mmアレンレンチでしっかりと各ボルトを締めます。 [図3]

● Aフレームを起こし、平らな床の上で広げます。プラットフォームおよびゴムキャップが均等に床面に接している事を確認して下さい。 [図4]



ステップ<2> ハンドル・ハンドルブラケットを取り付ける

ハンドルを取り付ける前に、「ドリンクホルダー」を別紙の説明書に従ってAフレーム左側に取り付けて下さい。

重要：ボルトで固定する箇所は最初に全部仮止めにして、組み立てた後にすべての部分を均等に増し締めをしてください。最初からしっかり固定すると「ヒズミ」が発生し、他の部分でネジ穴が合わなくなることがあります。

ハンドルを取り付ける

●左右のハンドルとハンドル取り付け用部品（取り付けボルト6個）を準備します。

●ハンドルの右（R）と左（L）のマークを確認し、右のハンドルをAフレーム右側に取り付けボルトを手で軽く締めます。〔図5〕〔図6〕

●同様に左のハンドルをAフレーム左側に取り付けます。

ハンドルブラケットを取り付ける

●ハンドルブラケットセット（左右各2計4つ）、取り付けボルト（4つ）、取り付けネジを準備します。

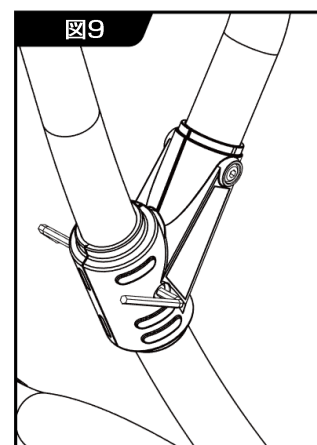
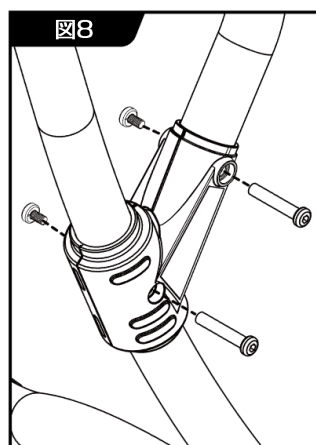
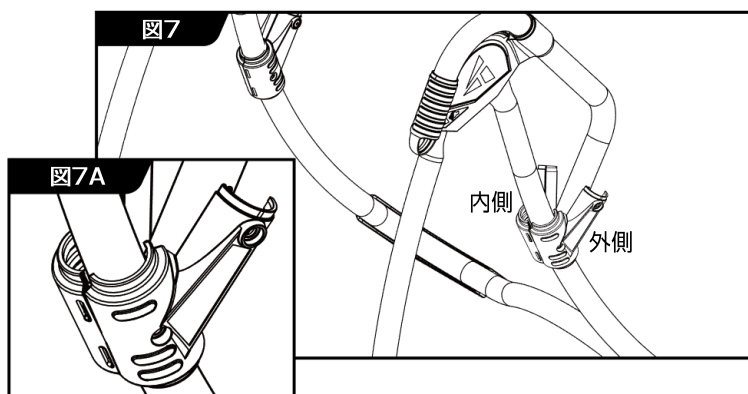
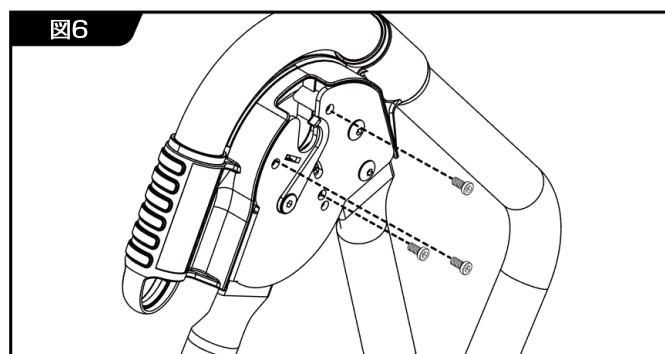
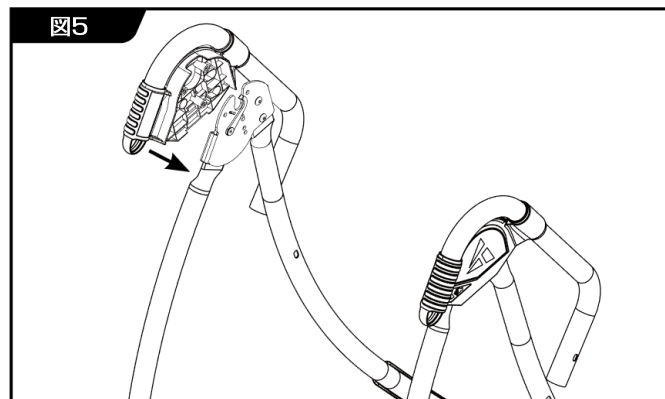
●ブラケットの右・内側(R-IN)/右・外側(R-OUT)、左・内側(L-IN)/左・外側(L-OUT)のマークを確認します。左ブラケットで左側のハンドルの先端部がAフレームに接する部分を挟み、Aフレーム、ハンドル両方を固定します。〔図7〕〔図7A〕

●取り付けボルト2個をハンドルブラケットのボルト穴に通し、5mmアレンレンチを使用し取り付けネジ2個を緩く締めます。〔図8〕

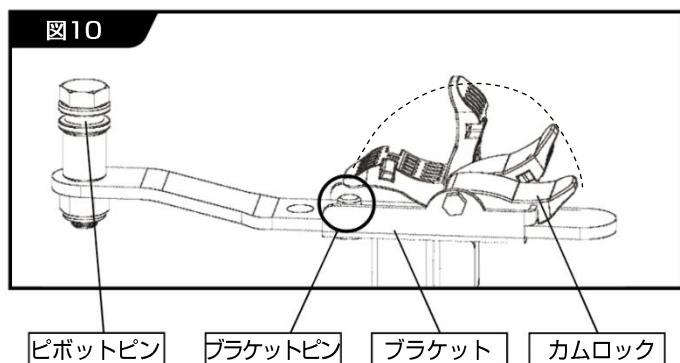
●同様の作業を右側でも行います。

●全てのボルト、ネジが取り付けられた後、5mmアレンレンチでハンドルのボルトをしっかりと締めます。

●ハンドルブラケットのボルト、ネジを5mmアレンレンチを2本使ってしっかりと締めます。〔図9〕



ステップ<3> ローラーヒンジをベッド枠に取り付ける

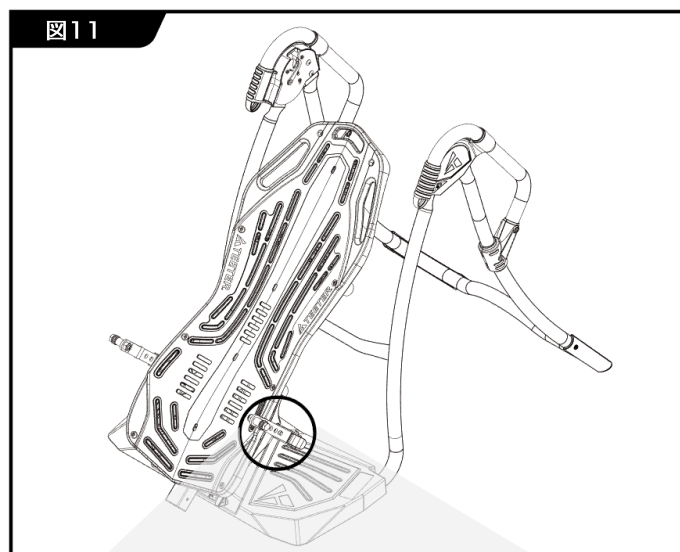


注意：本モデルにはローラーヒンジにあらかじめトラクションハンドルが取り付けられています。イラストには描かれていませんが組み立ての手順はそのまま行って下さい。

- [図10] を参照して各部位の名称をご確認下さい。

警告

ローラーヒンジとピボットピンは絶対に分解しないこと

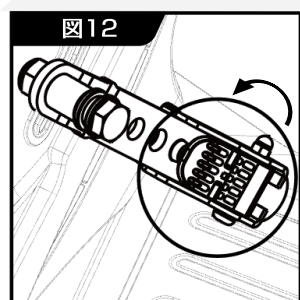


- 作業がしやすいよう、ベッドフレームをAフレームのクロスバーにたてかけておきます。[図11]

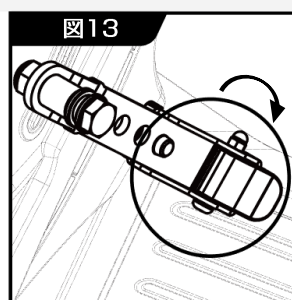
- ベッドフレームのカムロックを持ち上げ、ロック状態から解除します。[図12]

- ローラーヒンジのピボットピン部近くをつかみ、ピボットピンが外側を向く（ピンがベッドから離れていく向き）状態でローラーヒンジの先端をカムロックとブラケットの間に挿し込みます。

※ローラーヒンジを挿し込む際はカムロックが完全に上がっているようにして下さい。そうでない場合は差し込みづらい事があります。



ロック解除



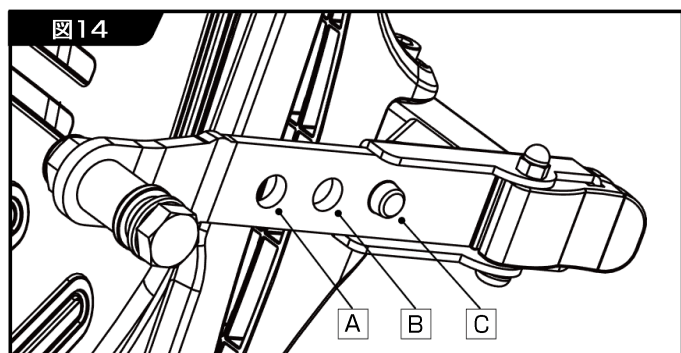
ロック

- ローラーヒンジの3つの穴の内いずれかをブラケットピンにはめ込みます。[図14] はローラーヒンジが「設定C」で正しく取り付けられた状態を示します。

注意：穴の設定の説明はオーナーズマニュアルを参照して下さい。どの設定にするか不明な時はCの設定で始めて下さい。

- カムロックを押し下げ、ローラーヒンジをロックします。

- 反対側も同様の手順を行います。ローラーヒンジの穴設定は右側左側で同じものになっているか確認して下さい。



ステップ<4> ベッドフレームをAフレームに取り付ける

●クロスバーがある正面に立ちます。[図15]

●ローラーヒンジのカムロックの上あたりをつかみ、ベッドを持ち上げます。ベッド上部が下にくるように奥に倒し、180度回転させます。ベッドの裏側が手前に来て、ベッドの上部はクロスバーの正面に来ます。[図16]

●ローラーヒンジのピボットピンをAフレームのヒンジプレート上部へ片方ずつ降ろします。セルフ・ロック・フックが開き、ピボットピンがヒンジプレートに収まると自動でフックは閉まります。

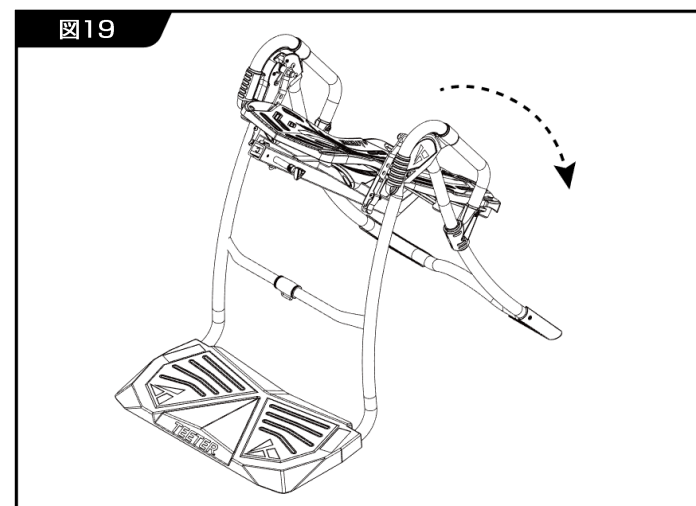
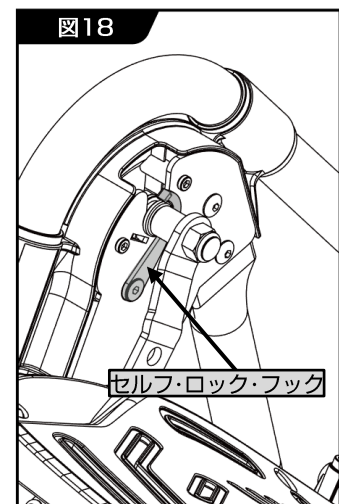
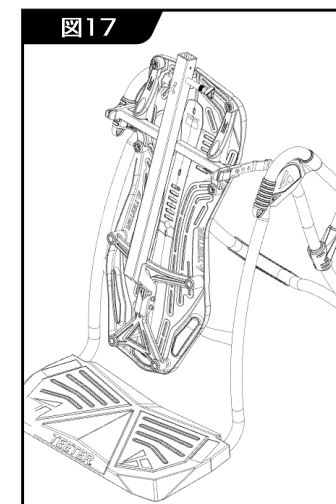
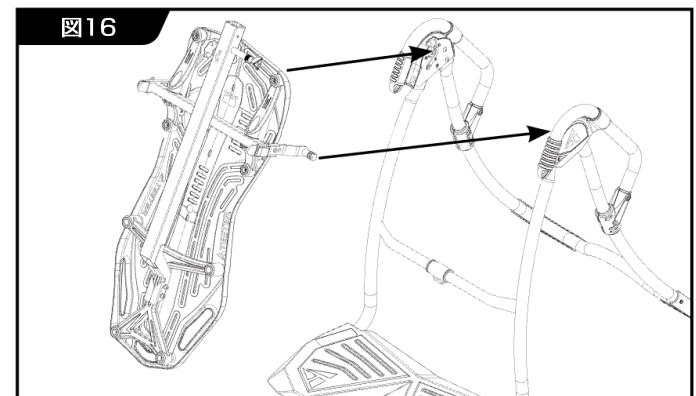
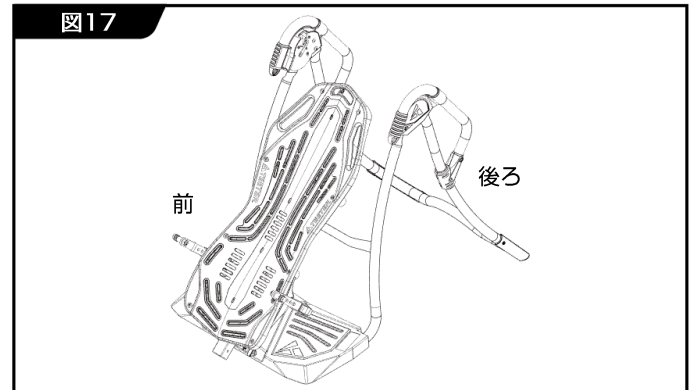
※もう片方のピボットピンを降ろす際に、はまりにくい時はヒンジプレートを外側へ広げて下さい。

●左右両側のピボットピンがプレートにしっかりと収まり、セルフ・ロック・フックがピボットピンを覆うように閉まっていることを確認します。[図17][図18]

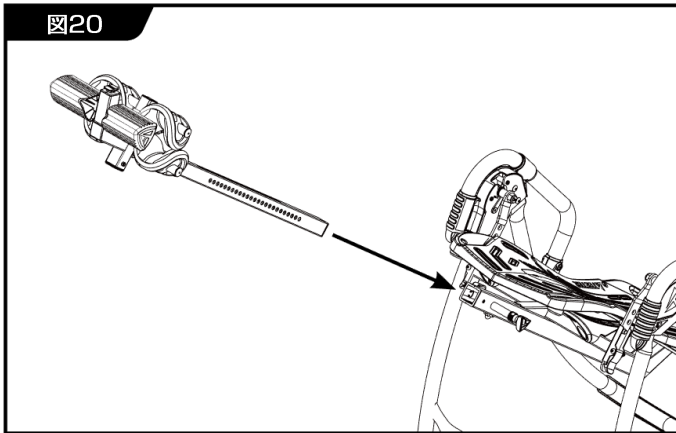
⚠ 警告

セルフ・ロック・フックがピボットピンの上で閉まっていない場合は器具が正しく組み立てられていません。修正せず使用すると重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。

●ベッドを器具を使用している状態の位置[図19]へ回転させます。スムーズに回転するか、また12ページの図A(組み立て間違いの例)を確認し、正しく組み立てられているかを確認して下さい。



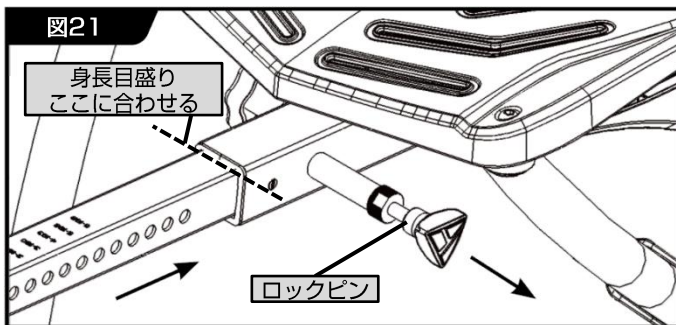
ステップ<5> メインシャフトをとりつける



●イラストで示されているメインシャフトとお手元の実物の形状が異なる場合がありますが、下記手順に従って組み立てて下さい。

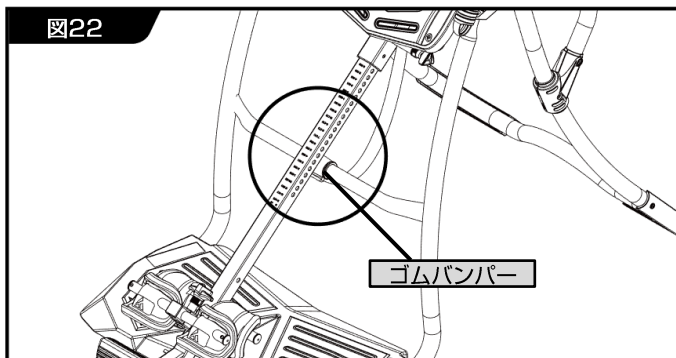
●Aフレーム正面に立ち、身長が刻みがついている面を上に向けた状態で左手でメインシャフトを持ち、メインシャフトの先端をベッド裏側にある軸受け部に挿し込みます。

[図20]



●右手でロックピンを引き[図21]、さらにシャフトを挿し入れ任意の身長の目盛りでピンを離します。詳しい身長の設定方法はオーナーズマニュアルを参照して下さい。

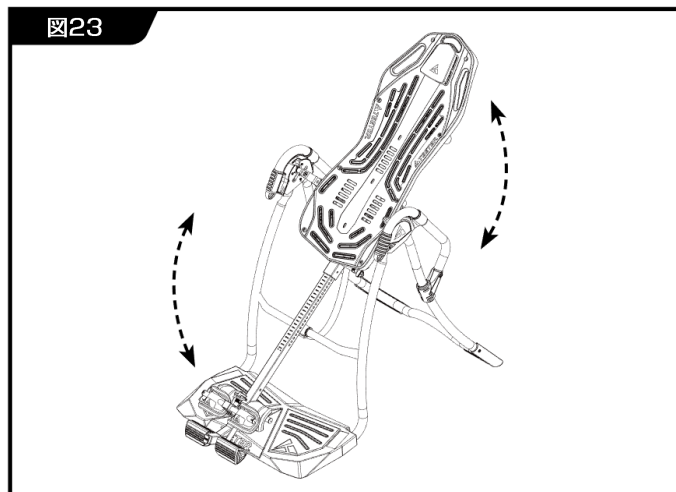
●正しく組み立てられたメインシャフトはクロスバーの中央にあるゴムバンパーの上に位置します。[図22]



重要：クロスバーは器具に乗った時ベッドが前方向に倒れないようにするためのものです。図22のようにメインシャフトがクロスバーの上に位置していない場合はベッドがAフレームに前後逆に組み立てられています。使用前に必ず修正して下さい。12ページの図B（組み立て間違いの例）も合わせてご確認ください。

●ベッドがスムーズかつ安定して回転するか、ネジ類は全てしっかりと締められているかを確認して下さい。

[図23]



ステップ<6> アングルストラップ、ヘッドピローを取りつける

アングルストラップを取り付ける

●ストラップはあらかじめAフレームに取り付けられています。

●折りたたまれたストラップをほどき、先端の金具をベッド裏側にあるU字部分にかけます。[図24]

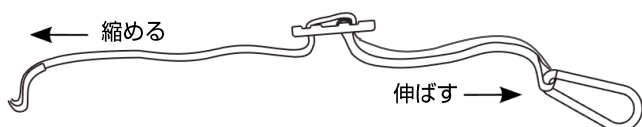
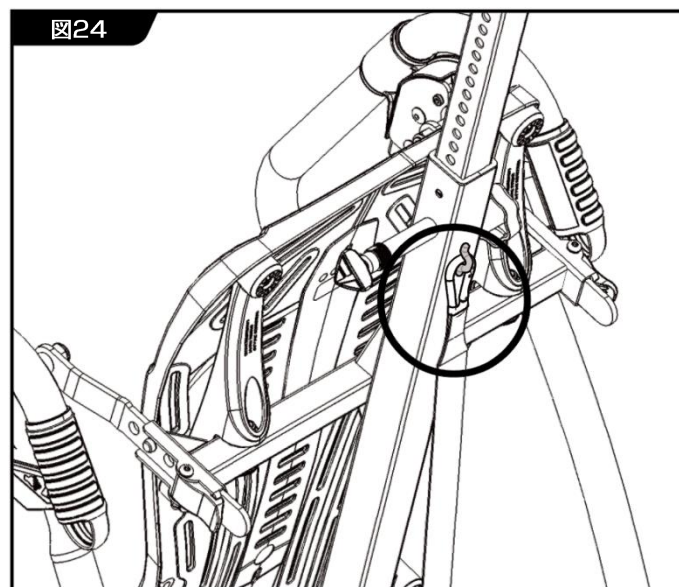
●バックルをスライドさせて、ベッドが希望の角度でとまるようにベルトの長さを調整します。

イージーアングルストラップには角度の目安のしるしがついています。バックル中央にしるしが来るようにセットします。目安の色と角度は次の通りです。

20° …… 緑

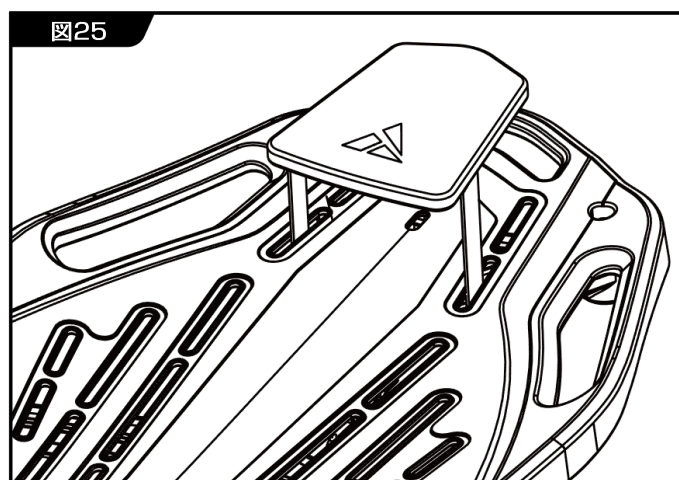
40° …… オレンジ

60° …… 赤



ヘッドピローを取り付ける

●マジックテープのベルトをベッドの穴に通してヘッドピロー（枕）を固定します。お好みの場所にとりつけて下さい。[図25]



正しく組み立てられていますか？

組み立てチェック

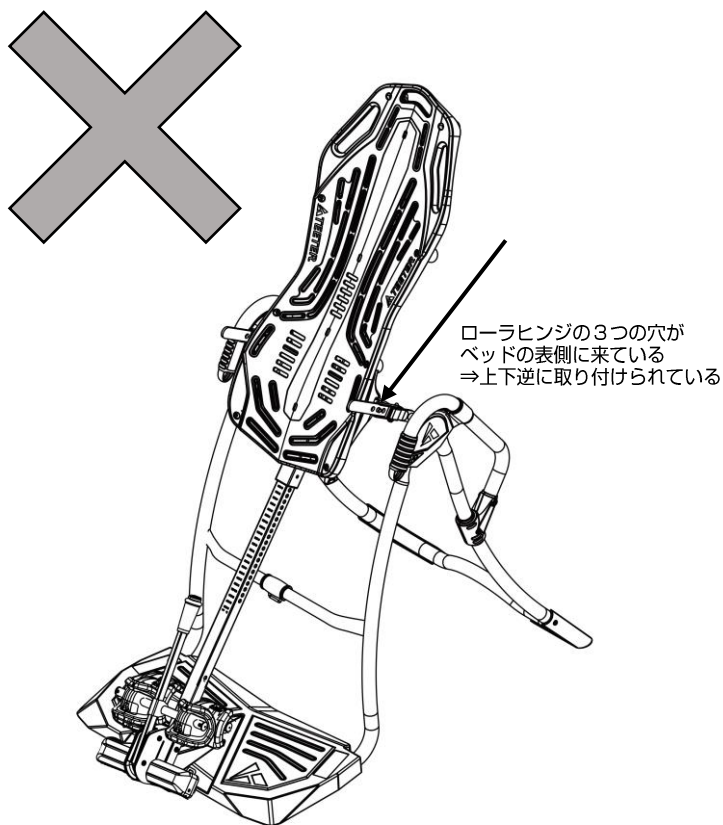
⚠ 警告

組み立てた逆さぶら下がり健康器が下のイラストのようになっている場合は組み立て方が間違っており、使用に適しません。正しく組み立てられていない場合は死亡事故や重大なケガを引き起こす可能性があります。

図A

ステップ<3>に戻り、再度組み立てて下さい

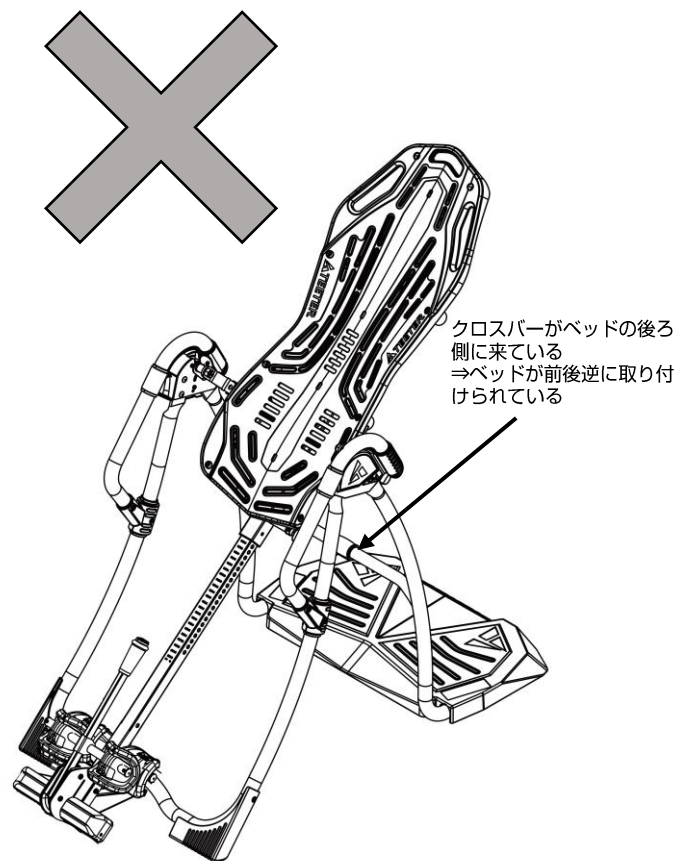
下図はローラーヒンジが上下逆に取り付けられた状態を示します。ステップ3に戻り正しく取り付け直す必要があります。



図B

ステップ<4>に戻り、再度組み立てて下さい

下図はベッドがAフレームに前後逆に取り付けられた状態の為、メインシャフトがクロスバーの上に乗っていない状態を示しています。ステップ4に戻り正しく取り付け直す必要があります。



逆さぶら下がりを行う前に

添付のオーナーズマニュアルを参照する

オーナーズマニュアルには本器具の使い方を始め、個人の設定方法、足首のロック・解除方法、器具の回転の調整・コントロール方法など重要な情報が記載されています。

マニュアルが器具に取り付けられていない場合は同梱の金属製ボールチェーンをマニュアル上部の穴に通します。

器具本体ハンドル部に空いている穴にチェーンを通します。マニュアルが器具使用時に回転に干渉しないよう、Aフレーム外側につり下げます。【図26】 【図26a】

重要：マニュアルを器具本体にとりつけた後は取り外さないこと。全ての使用者が常に器具の正しい調整・使い方がわかるようマニュアルは器具に常に装備しておくこと。

⚠ 警告

器具を使用する前に、オーナーズマニュアル全体をよく読むこと。不適切な設定で使用すると死亡事故や重大なケガを引き起こす可能性があります。

説明用DVDを見る

説明用DVD（英語）はオーナーズマニュアルの内容を理解する補助となります。映像でわかりやすく器具の設定、ぶら下がりの方、収納の仕方、メンテナンス、さらに器具を使用したストレッチやエクササイズなどの説明が収録されています。

図26

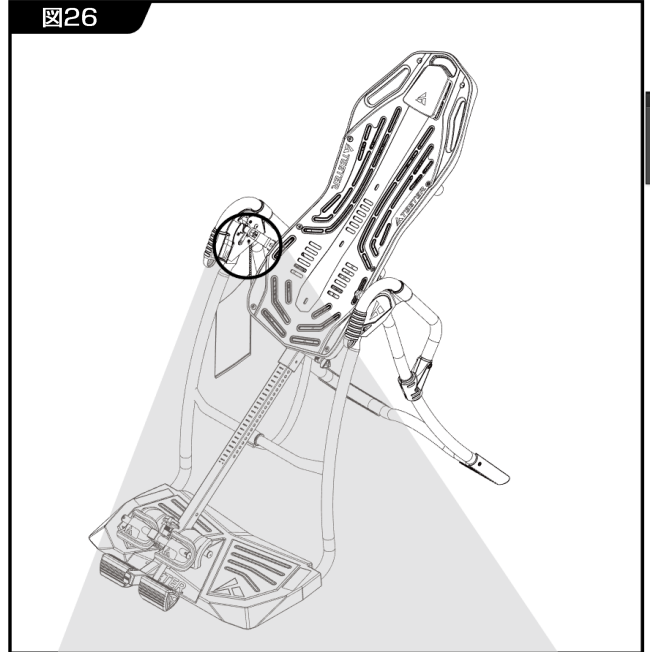
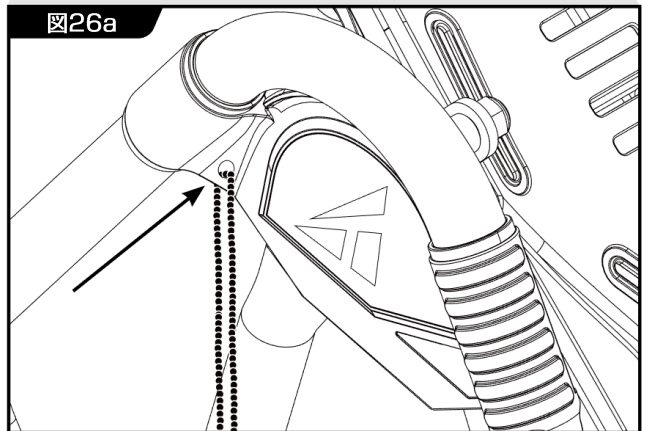


図26a



保証について

□ 保証規定

本品付属の取り扱い説明書等のマニュアルに従い、正常に使用した状態で、破損・故障した場合は無償で商品、もしくは部品をお取り替えいたします。

- ・ 保証期間 ご購入日より起算して1年間
- ・ 下記の場合は保証期間内であっても保証適用外となります。
 - － 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障又は破損
 - － 誤った組み立て方による故障又は損傷
 - － 天災地変など、外部に原因がある故障又は損傷

□ 保証規定

故障・破損内容を本体シリアルナンバー（製造番号）*と併せて下記までご連絡下さい。

*ベッド裏側に貼付されているシールに記載されています。

株式会社 タステック

〒802-0031 福岡県北九州市小倉北区赤坂海岸9-11

TEL 093-541-6885 / FAX 093-541-6939

info@tastech.co.jp

※保証についてのお問い合わせ・商品についてのお問い合わせ・ご質問もこちらで承ります

□ ユーザー登録

商品についての重要なお知らせ等充実したサポートのため、ユーザー登録をおすすめしております。下記URLからご登録ください。オンライン環境が無い場合は専用用紙をお送りしますのでお電話にてお申し込みください

登録ページ：<http://inversion.jp/register/>



USA: 800-847-0143 or info@teeter.com
International: info@teeterintl.com

USA: Teeter
9713 233rd Avenue East
Bonney Lake, WA 98391
Toll Free: 800-847-0143
Fax: 800-847-0188
teeter.com | info@teeter.com

International: Teeter International, Ltd.
Gor-Ray House
758 Great Cambridge Rd
Enfield
Middlesex EN1 3GN
United Kingdom
teeterintl.com | info@teeterintl.com



This product is Listed by Underwriters Laboratories Inc. Representative samples of this product have been evaluated by UL and meet applicable safety standards.
Any modification to this device will void the UL Listing.



Medical Device Safety Service GmbH
Schiffgraben 41
30175 Hannover
Germany
Tel. +49 511 62628630

